

8月26日



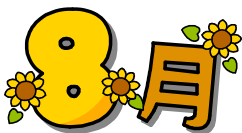
かじたま

鯉沢中学校
学校だより

令和元年度

(鯉 中 魂)

校長 伊藤 正人



学校教育目標 「ふるさと鯉沢を愛し、
活力にあふれ、人間性豊かな生徒の育成」

校 訓 「自主・創造」

2学期のスタート

短く暑い夏休みでした。生徒は30日の夏休みを有意義に過ごしたようです。始業式では、明るく元気な笑顔が見られ、安心しました。いよいよ2学期が始まりました。2学期は力を伸ばすのに適した学期でもあります。保護者の皆さまをはじめ、地域の方々のご協力をいただきながら、全力で子どもたちの力を伸ばしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

今日の始業式では、1年千野我空さん、2年小林楽さん、3年高井美楽さん、学友会長田桃枝さんが2学期の抱負を述べました。13～14日に行われる鯉朋祭や学習・部活動などをどのようにがんばるかを伝えてくれました。素晴らしい発表でした。話したことを実現するように期待しています。誰もが居心地のよい鯉中にもっともっとなれるように歩んでいきましょう。



県・関東・全国

7月下旬には、山梨県総合体育大会が行われました。テニス女子団体、空手、陸上に出場し、活躍しました。

バドミントンでは、男子団体戦が勝沼中には敗れましたが2位となりました。女子シングルスでは、望月愛生さんが見事、優勝しました。それぞれ関東大会に出場しましたが、関東の壁は厚く、惜しくも敗れました。メンバーには1・2年生もいるので、来年が楽しみです。

また、2年の青沼末優さんが空手の全国大会に出場し、1回戦を突破する活躍もありました。



命の大切さを学ぶ授業

23日の午後、多摩市在住の岩崎悦子さんを講師にお招きし「命の大切さを学ぶ授業」を行いました。岩崎さんは、三男の息子さんを飲酒運転の車にひき逃げされ、亡くされるという体験をもとに、命に向き合ってほしいと生徒に訴えました。「皆さんの命は家族をはじめとする多くの人に支えられており、ただ生きているだけでも、人々に元気を与えている。自信をもって自分自身を、仲間を大切にしてほしい。」という内容でした。講師の岩崎さんは息子さんのことを話すとき、涙ぐまれている様子でしたが、こちらもらい涙になってしまいました。生徒は真剣に話を聞いており、自分の命、友だちの命、仲間の命のことを考えていました。

この授業は、県警察本部犯罪被害者支援室と被害者支援センター山梨との共同開催で行われ、鯉沢警察署長さんをはじめ、多くの参加者もありました。心に強く刻まれた授業となりました。



進路に向けて

市川高校・増穂商業高校・峡南高校が併合して、青洲高校が新設されることをご存知かと思います。先日、新設校の説明会があり、本校の生徒・保護者もたくさん参加しました。青洲高校には普通科・商業科・工業科が置かれ、来年度から学生を募集する運びとなりました。制服の選定も進んでいるそうです。部活動を引退した3年生はいよいよ各自の進路に向けて、高校選びや学習が本格化します。10月1日には1回目の教育課程到達度確認検査（校長会テスト）が行われる予定です。3年生の進学に向けて、全校体制でサポートしていく予定です。がんばれ！3年生。

鯉朋祭【9月13日(木)14日(金)】

恒例の鯉朋祭を、13～14日の2日間開催します。13日は「キャンユースピーク甲州弁」でおなじみの、五緒川津平太氏を講師に講演会を行います。メインとなる14日は午前中が演劇・合唱の文化の部、午後に体育の部を行います。8月13日のかじかざわ夏祭りで1年生が演奏した「鯉沢囃子」の再演も予定されています。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

